



平成30年9月28日

各 位

上場会社名 株式会社 岡山製紙
 代表者 代表取締役社長 津川 孝太郎
 (コード番号 3892)
 問合せ先責任者 取締役管理統括部長 妻鹿 徹
 (TEL 086-262-1101)

第2四半期(累計)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年7月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成31年5月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成30年6月1日～平成30年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,900	250	285	200	40.59
今回修正予想(B)	4,900	360	400	280	56.82
増減額(B-A)	0	110	115	80	
増減率(%)	0.0	44.0	40.4	40.0	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年5月期第2四半期)	4,502	△156	△119	△86	△17.66

修正の理由

平成31年5月期第2四半期累計期間の業績につきまして、板紙事業において段ボール製品の需要の高まりや、前期から取り組んできました製品価格改定の影響で、計画どおり増収となる見込みです。
 また、原料古紙につきましては中国向け輸出が規制された影響で国内の古紙流通量が増加し、価格が下落したことで計画より原料費が減少し、利益を押し上げる要因となりました。この結果、売上高につきましては、概ね前回公表の予想数値どおりの見込みとなりましたが、利益につきましては予想数値を大きく上回る見込みとなりました。
 しかしながら、当第1四半期末頃から原料古紙の中国向け輸出が再開された影響で古紙価格が上昇傾向にあり、今後利益の確保が難しい状況になると予想されることから、通期の業績予想につきましては変更しておりません。

(注)本資料に記載されている業績予想に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後種々の要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上